

# 会派調査(研修)報告書

NO.

平成30年11月22日

胎内市議会議長 薄田 智 様

(報告者) 会派名 志政会

代表者名 佐藤陽志

会派調査(研修)について、下記のとおり報告します。

調査・研修 日時	自 平成 30 年 11 月 12 日 至 平成 30 年 11 月 13 日 泊 2 日 ( 2 日間)	調査・研修 場所	福井県大野市
調査・研修 事項	大野市：①大野市オートキャンプ場を含む周辺施設の運用について		
調査・研修 出席者(参加者)	佐藤陽志 桐生清太郎		
相手方(対応者)	大野市：松川正、佐々木伸治 指定管理者：(株)メンテナンスナカムラ、中村圭吾、大田実		

## 調査の結果または概要

昭和 53 年竣工のパークホテル九頭竜周辺には、オートキャンプ場のほかスキー場及び釣り堀があり、ロイヤル胎内パークホテル周辺の環境と重なる部分が多い。オートキャンプ場が人気の理由は山に囲まれた土地であり、星が美しいことがあげられる。全 62 区画のうち 2 区画は手ぶらで来場しキャンプを体験することが可能である。キャンプ場とホテルが隣接しているため、指定管理者は一体的に管理しており、また 300 円で入浴が可能なほか荒天時の避難場所としてホテルの施設を利用することができる。

## 調査の所見・感想

胎内市のキャンプ場はオートキャンプ場ではないため、近年はやりのいわゆるお手軽なキャンプとは一線を画する。大野市のオートキャンプ場は、車が通る道は舗装されているが、車を止めるスペースとテントスペースはフリーサイトとなっており舗装されていない。胎内市のキャンプ場をオートキャンプ場と改変するには、アスファルトなどでよい。車の通り道を確保するだけでそのように利用することが可能であろう。あわせて安価にて風呂には入れることで価値が高まる。ロイヤル胎内パークホテルの風呂を利用することとするなら、指定管理の一部として管理運営を行うことが望まれる。キャンプ場に新たな管理棟などは必要ないが、トイレが美しければなおよいと思われる。フラワーパークもオートキャンプ場として利用することが可能ではないか。